

赤谷プロジェクト20周年報告会

# 赤谷プロジェクトから発展した 三菱地所・みなかみ町・日本自然保護協会の連携事業 ～1年間の成果～

2024年2月3日

公益財団法人日本自然保護協会 生物多様保全部

出島誠一

NATURE POSITIVE

# みなかみネイチャーポジティブプロジェクト

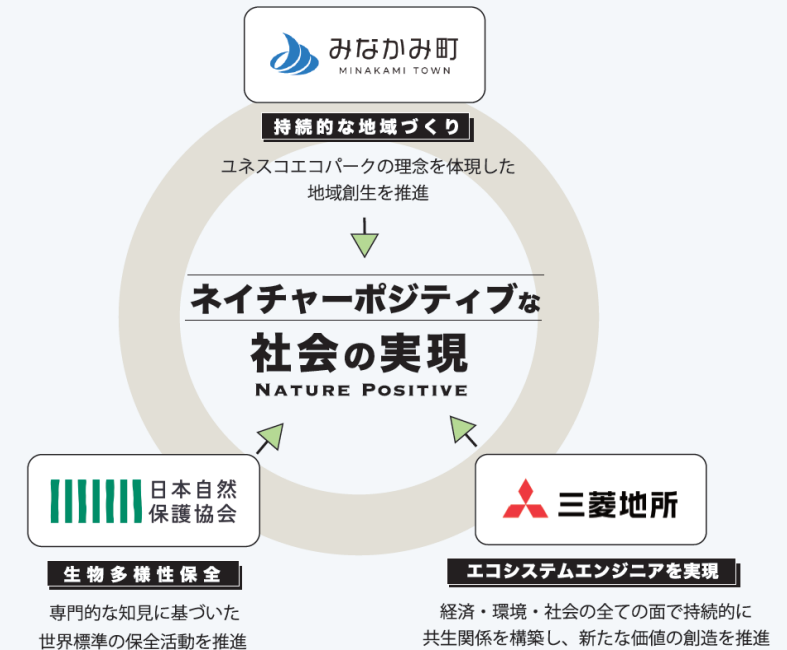
企業版ふるさと納税を活用し群馬県みなかみ町でネイチャーポジティブに向け新たな活動を始動



はじめに

## プロジェクト概要

群馬県みなかみ町、三菱地所株式会社、公益財団法人日本自然保護協会は、2023年2月7日に10年間の連携協定を締結しました。行政・企業・NGOが一体となって、それぞれの知見を活かしながら、ネイチャーポジティブな社会の実現を目指します。本取り組みには、企業版ふるさと納税を活用し、三菱地所は、みなかみ町に「環境・生物多様性保全活動への支援」として、協定期間内に6億円の寄付を予定しています。





# 『ネイチャーポジティブ』とは？

・・・人と地球のために、生物多様性の損失に歯止めをかけ、自然を回復させること。

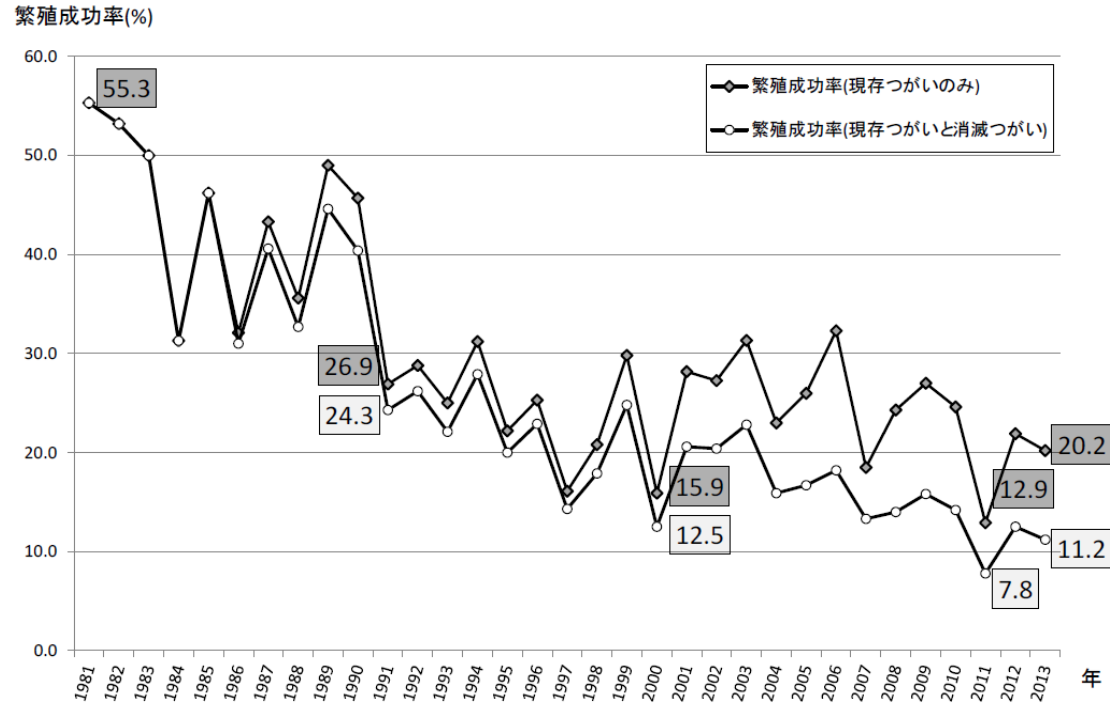
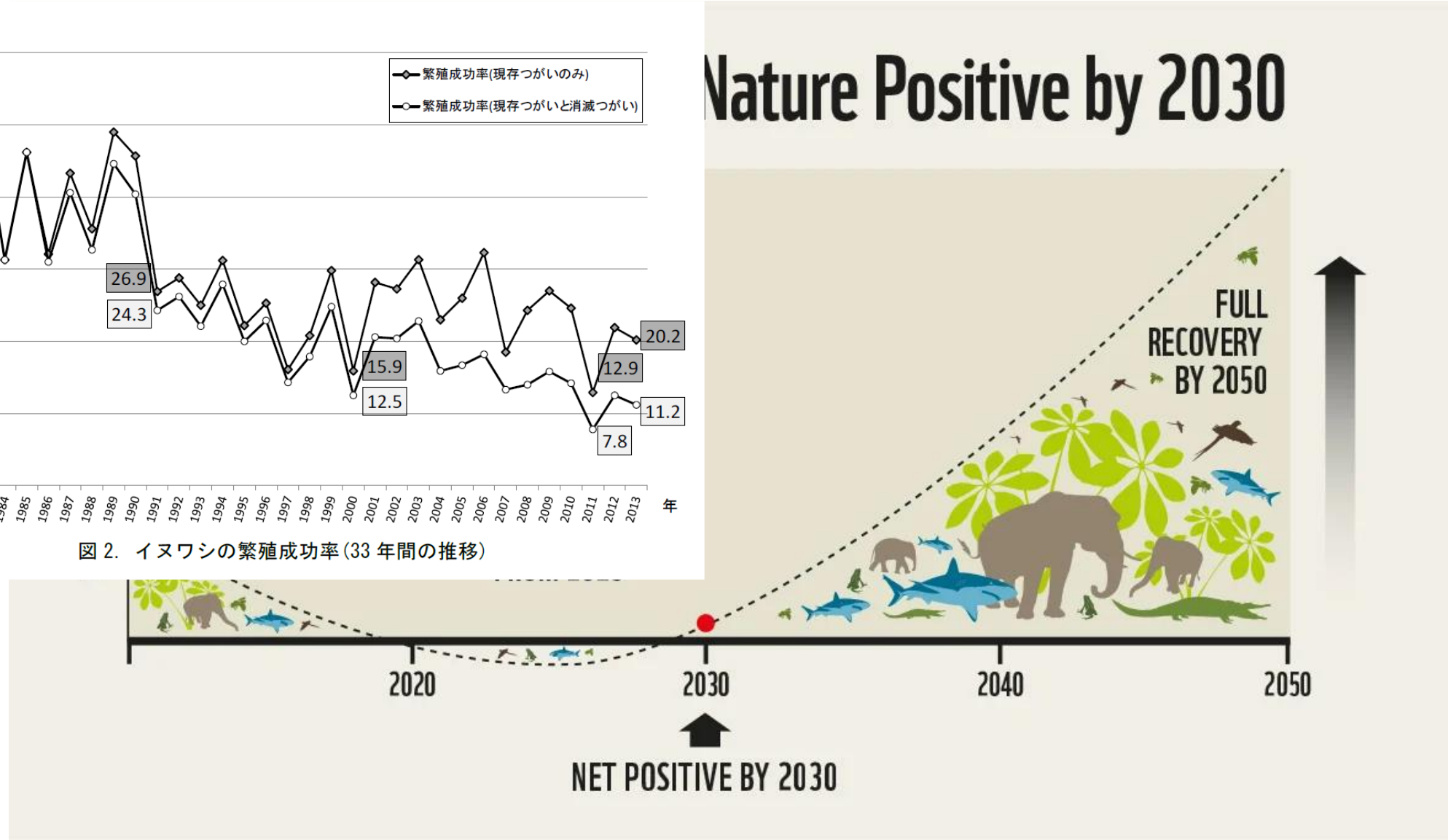


図 2. イヌワシの繁殖成功率 (33 年間の推移)

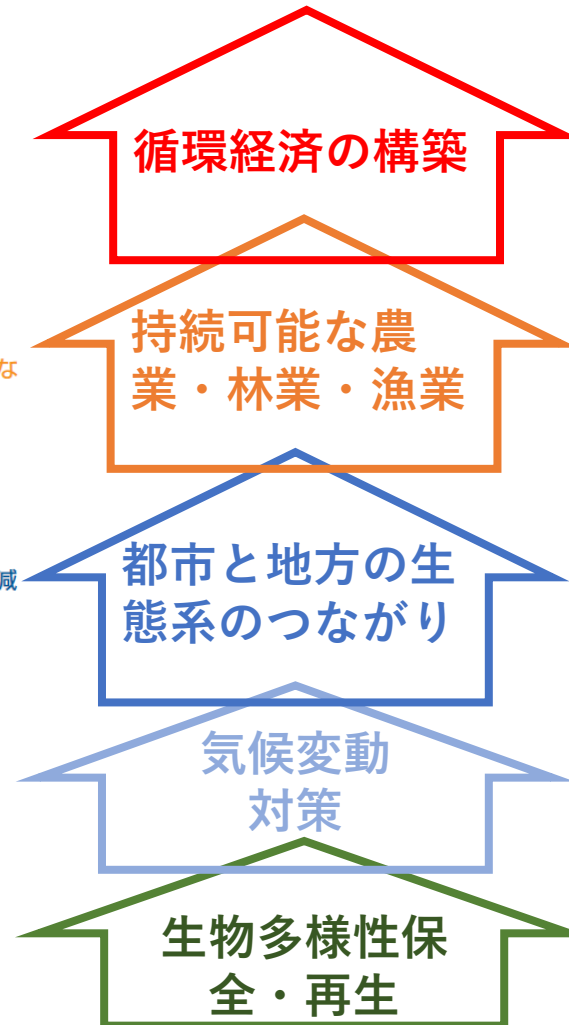
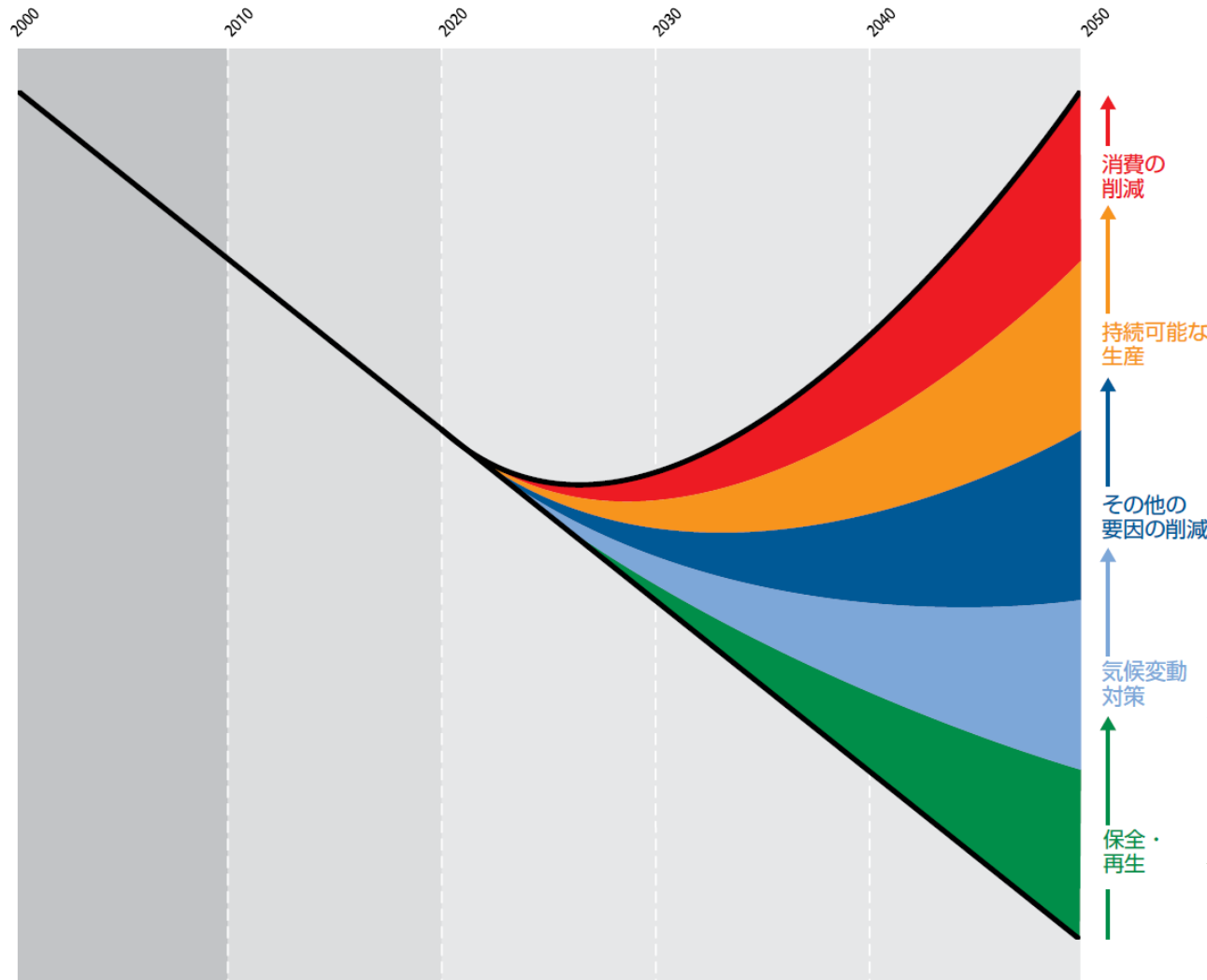
## Nature Positive by 2030



# 『ネイチャーポジティブ』とは？

・・・人と地球のために、生物多様性の損失に歯止めをかけ、自然を回復させること。

生物多様性の損失を減らし、回復させる行動のポートフォリオ



赤谷プロジェクト



NATURE POSITIVE

# みなかみネイチャーポジティブプロジェクト

企業版ふるさと納税を活用し群馬県みなかみ町でネイチャーポジティブに向け新たな活動を始動

## 5つの主な活動

1

生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換する活動

2

生物多様性豊かな里地里山の保全と再生活動

3

ニホンジカの低密度管理の実現

4

NbS (Nature-based Solutions) の実践

5

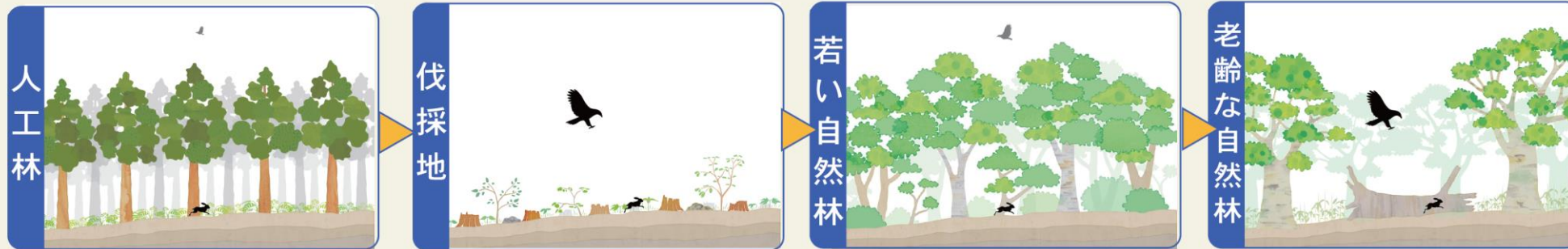
生物多様性保全や自然の有する  
多面的機能の定量的評価への挑戦と活用

活動 1

生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換する活動

管理の行き届いていない人工林は、自然林よりも生物多様性が低いことがわかっています。この取り組みでは、そのような人工林を本来の植生等を踏まえた自然林へ戻していくことで、生物多様性の保全と回復を目指します。

イヌワシやクマタカなど、生態系の指標種にもなる動植物の保全と一体となった取り組みを推進します。



国有林での取り組み

赤谷プロジェクトと連携

赤谷プロジェクトエリアで、アカマツを中心とした人工林、約 0.5ha の植生調査と伐採をおこないました。今後、搬出したアカマツの活用を検討していきます。



搬出した  
アカマツ



伐採エリアの様子

✓ 伐採した木材は、町内での活用を推進・検討中！  
使い方はご連絡下さい！



## 町有林での取り組み

# ちばむらオート キャンパーズリゾート周辺



みなかみ町有林の分布図

旧千葉村町有林の人工林（みなかみ町提供）

■ 橙：スギ林  
 ■ 黄：アカマツ林  
 ■ 水色：カラマツ林  
 ■ 緑：ヒノキ林  
 黄色線：作業道

ちばむらオートキャンパーズリゾート（旧千葉村）周辺の約 30ha を対象に植生調査をおこないました。その調査結果をもとに、現在スギやアカマツを中心とした約1ha の伐採をすすめています。今後は、旧千葉村以外の町有林においても自然林への転換を進めていきます。

✓ 搬出した木材は、新・統合小学校の利用を検討中



里地里山は、長い年月をかけて人と自然が関わり合い形成された日本の特長的な自然環境のひとつで、多くの動植物が生息しています。本取り組みでは、ため池の外來種防除などに取り組み、生物多様性豊かな里地里山の保全と再生を目指します。

月夜野ホテルの里「権現上池」のかいぼりによる外來種駆除



かいぼりでネイチャーボランティア!  
外來魚捕獲ボランティア

みなみ野ではユネスコエコパークの推進の機会を捉えることとし、2023年から会報社発行の日本自然保護協会・三野湖研究会と連携を取り、生物多様性の保全に貢献し、自然環境の改善に努める「ネイチャーボランティア」活動の開始を計画しています。

湖沼の環境は外來種オクチバスやコイが産卵し、在来生物の生育環境を悪化させています。かいぼりでこれらの外來種を取り除き、水辺の環境を改善させましょう。

2023年  
10月14日(土)  
9:30~12:00  
雨天中止

場所：権現上池  
（上野高原観光ホテル側コース内）  
対象：小学生3年生以上  
（小3,4年生は保護者同伴）  
定員：30名、参加申込み  
締め切りは参加人数次第ですが、毎年度の定員  
を超えて参加はできません。  
持ち物：雨具、  
釣り針も良い釣針、長靴や長靴、  
お手拭きタオル、お水、バケツとゴミ袋

参加申込 2023年 10/9 (月)  
申込先：M&T 01-271-0121  
お申し込みください。  
<https://agoform.jp/form/tzId/388373>

お申し込み後に入会費を  
お支払いください。  
お申し込み後に入会費を  
お支払いください。

みんなで楽しく、  
ネイチャーボランティア!

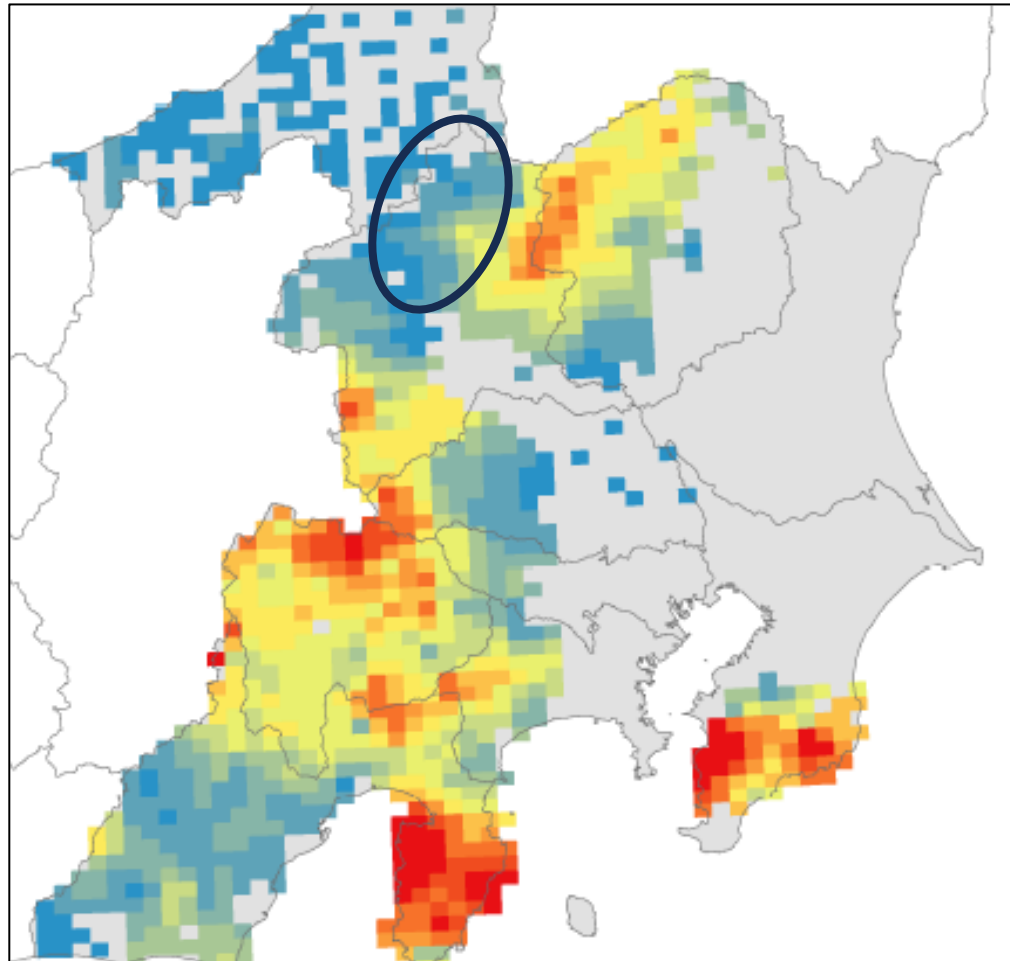
主催：M&T 自然環境推進部 協賛：三野湖研究会、環境NPO 三野湖 協賛：M&T 自然環境推進部 0278-25-5032



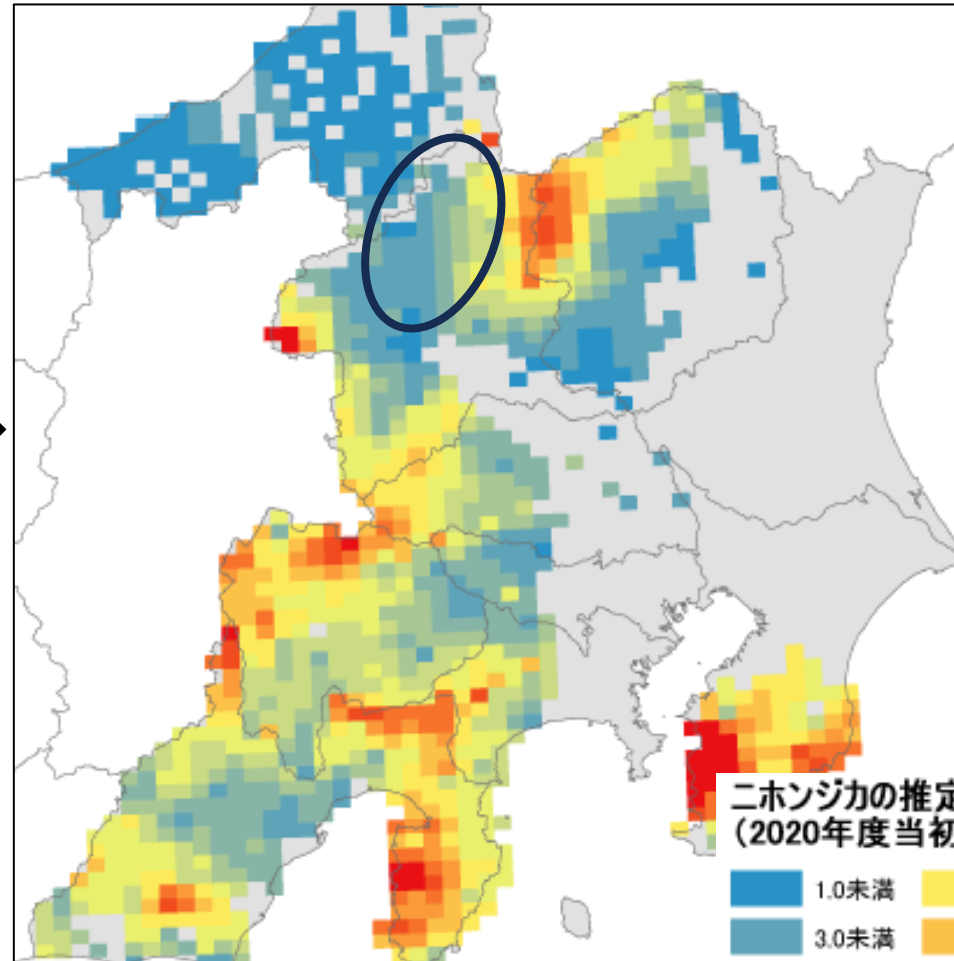
✓ 次年度も「かいぼり」を継続予定。  
ぜひご参加ください!



# 3. ニホンジカの低密度管理

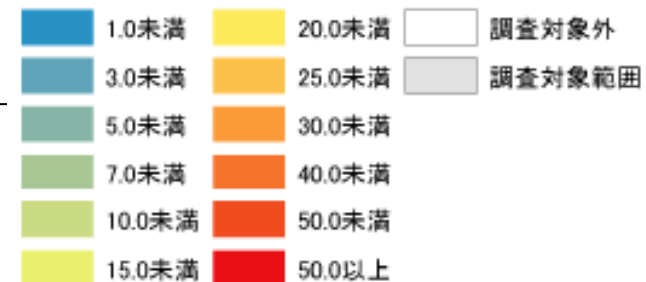


2014年度



2020年度

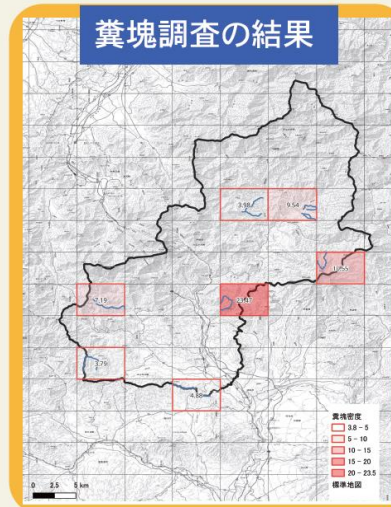
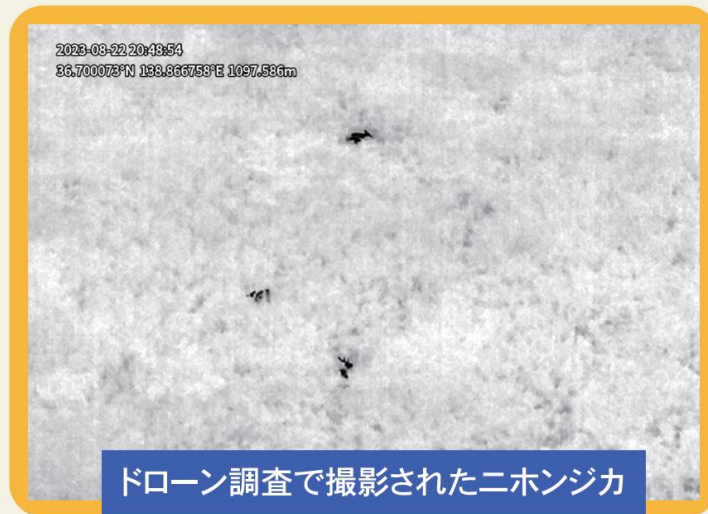
ニホンジカの推定生息密度(頭/km<sup>2</sup>)  
(2020年度当初中央値)



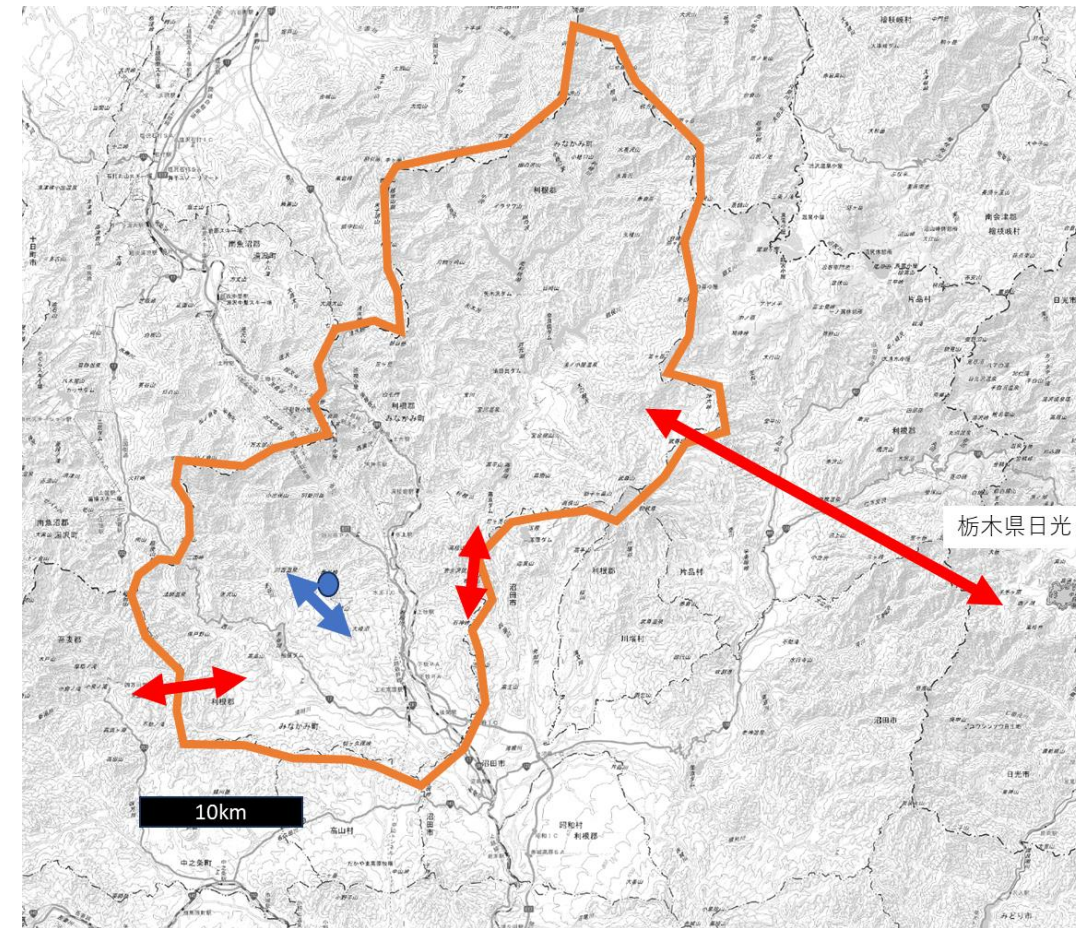
関東地方におけるニホンジカの密度分布図 (環境省 2020)

ニホンジカの増加は全国的な課題となっており、みなかみ町でも増えつつあることからその対策が急がれます。科学的なモニタリングと効率的な捕獲技術の開発を急ぎ、ニホンジカの低密度管理を実現させます。

## みなかみ町における ニホンジカの生息状況を把握



糞塊調査、食痕調査、ドローンによる赤外線調査、GPS 調査を実施しました。調査により、みなかみ町においてもニホンジカが局所的に高密度で生息していることが判明しました。この結果をもとに、低密度下における効率的な捕獲技術の開発に取り組んでいきます。



**GPS装着で季節移動を把握  
地域ごとに異なる動き！**

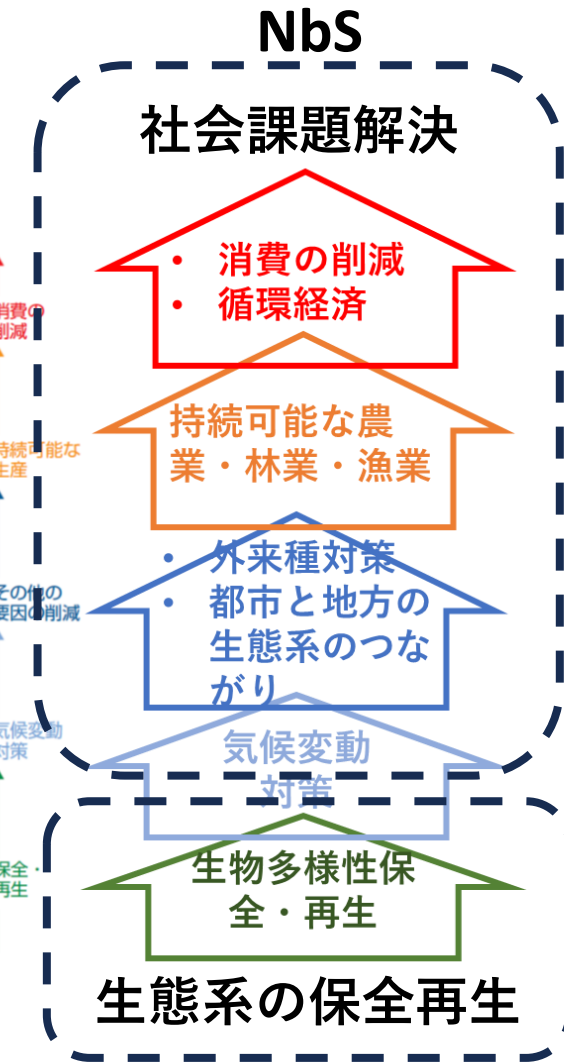
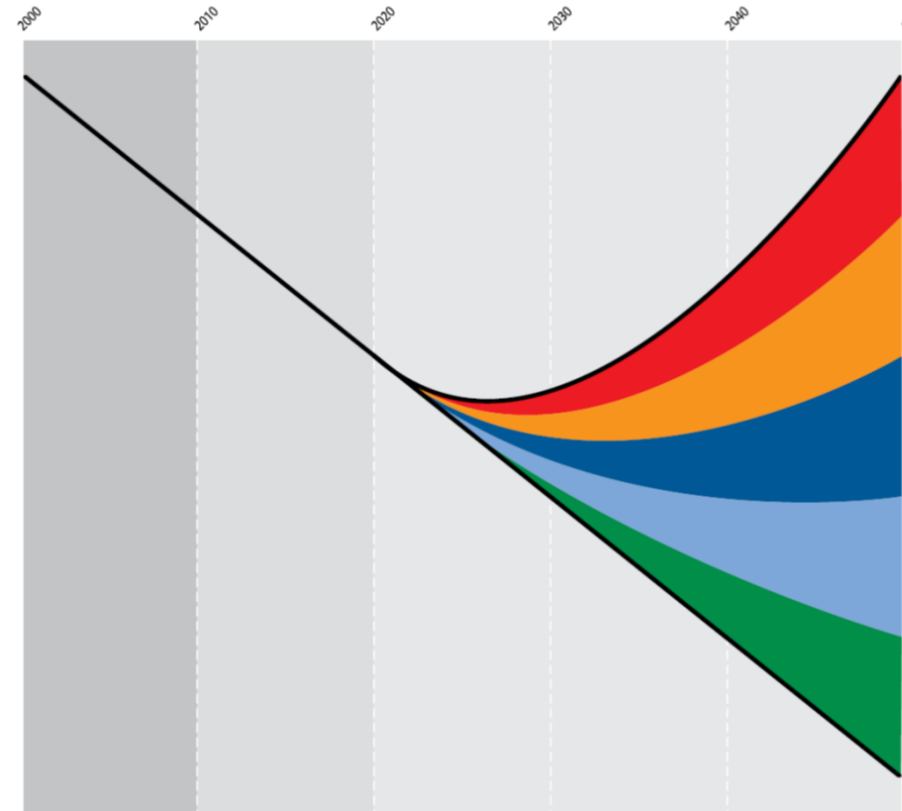


# 4. ネイチャー・ベースド・ソリューションズ

直訳は「自然に根差した解決策」～生態系の保全・再生を通じて社会課題を解決

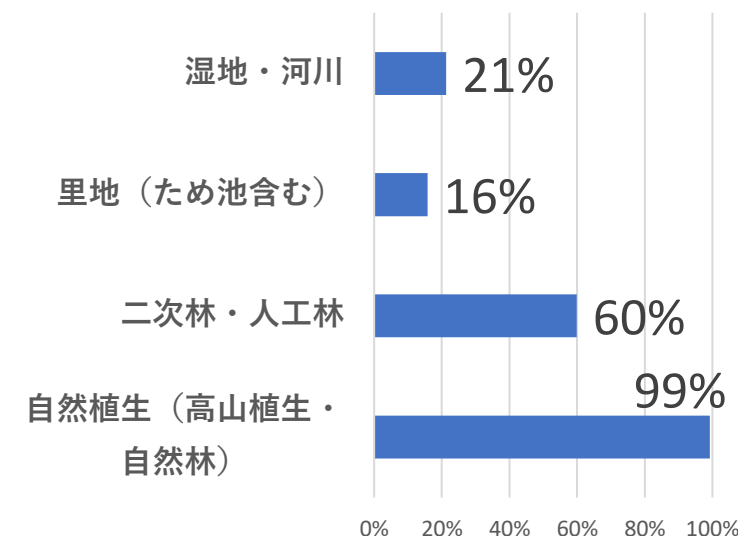


生物多様性の損失を減らし、回復させる行動のポートフォリオ



生物多様性保全の定量的評価は、ネイチャーポジティブな社会を実現していく上で世界的にも重要な議題となっています。本取り組みでは、研究機関や専門家と連携し、国際的な先駆事例にもなり得る生物多様性の評価手法を開発して定量評価に挑戦します。

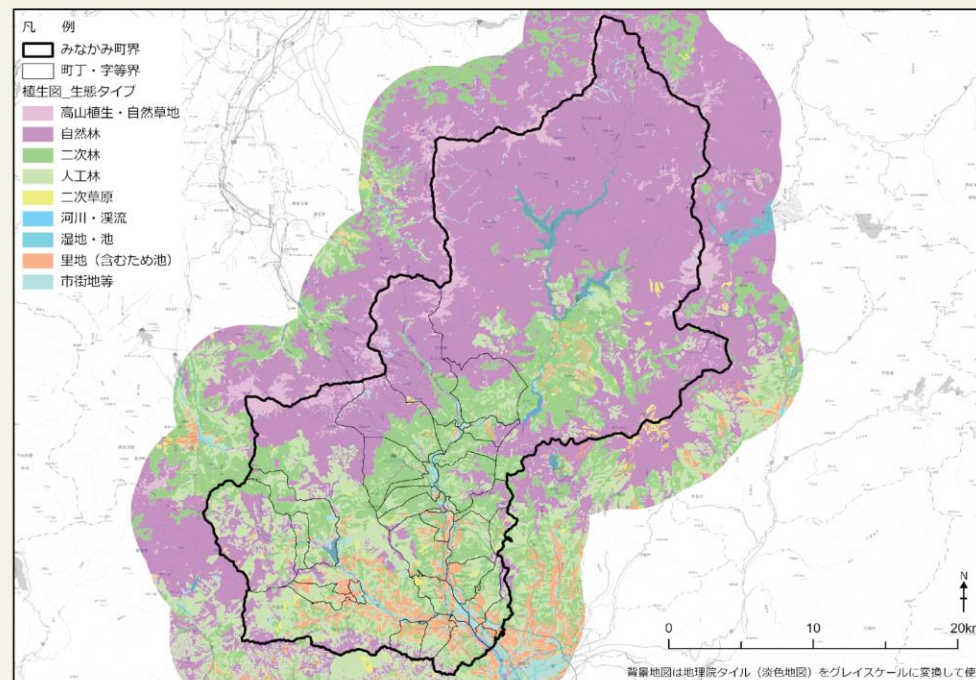
## 生物多様性重要地域の保護地域率



✓ 高標高域に比べて里地は、生物多様性重要地域が保護されていない。

定量評価で投資される町に！

## みなかみ町の自然の定量的評価



モニタリング調査や専門家の意見をもとに、「生態系の特徴」「生物多様性」「生態系の恵み」を定量的に評価しました。この結果をもとに、ネイチャーポジティブ実現へ向けた課題を洗い出し、評価手法の完成を目指していきます。

### 生態系の特徴

多様な気候帯と植生  
**8種類**の生態系タイプ  
 全国的に希少な高山植生や草地  
 国土の2割程度しかない自然林が、  
 町の面積の**52%**を占める  
 里地は町面積の**4%**とわずか

### 生物多様性

町内に生息する生物種 約**4,900**種  
 全種保全のための重要地域 **64**箇所  
 重要地域で保全できる生物 **99.6~100%**

### 生態系の恵み

地下水涵養量 **237,270** キロトン  
 洪水時流量緩和量 **498,223** キロトン/秒  
 炭素吸収量 **157,794** CO2トン/年



# みなかみネイチャーポジティブPRJ／赤谷プロジェクトに、ご参加ください！

